

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章を考える力が身に付いている。
- 事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力が身に付いている。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。

【算 数】

- 示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する力が身に付いている。
- 角の大きさについて理解している。
- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。
- 伴って変わる二つの数量関係に着目し、必要な数量を見いだすことに課題がある。

【理 科】

- 結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現する力が身に付いている。
- 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。
- 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わる問題に課題がある。
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能に関する問題に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- P CやタブレットなどのI C T機器をほぼ毎日授業で使用している。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。
- 自分にはよいところがあるという、自分を肯定的に捉えようとする意識に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の学習における分割授業の実施
- ・国語科、算数科の全校共通のドリルを活用した朝タイムの取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・P CやタブレットなどのI C T機器を活用した文章作成や情報収集、プレゼンテーション
- ・実体験を通した学びの充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・地域の「ひと・もの・こと」の活用
- ・給食前学習

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・楽しみながら自分の考えをまとめたり発信したりする活動
- ・協働的な学びの基盤となる共感的な学級集団づくり